

標 題

出雲農林高校の生徒が身近な課題を研究し、堂々と発表！

～出雲農業に関心を持ち、将来は地域農業の担い手に～

(ダイジェスト)

出雲農林高等学校では生徒自身が研究テーマを設定して、計画、活動、そして発表へと繋げていく学習を行っており、この度その発表会が開催され、大変有意義な機会となりました。

今後は同校と更なる連携を行い、生徒に出雲農業に関心を持ってもらい、ひいては地域農業の担い手に育ってほしいと期待しています。

6月17日(土)に出雲市民会館大ホールにおいて、出雲農林高等学校の意見・プロジェクト発表会が開催され、プロジェクト部門の審査員として出席しました。同校とは以前から連携を図っていましたが、昨年度からは「ぶどう課題研究用ハウス(普及情報第5号に記載)」等の関連で再々訪問していたことから、発表内容もさることながら、明るく元気な生徒たちに会えることも楽しみに会場に向かいました。

発表のあった8つの研究テーマは、何れも校内や地域にある身近な課題を取り上げ、アンケート調査等から実態を把握・分析し、研究の目的・方向性を見定めた上で計画的に進めていること、新たな問題に遭遇するとPDCAサイクルにより、次年度のテーマに繋げるなど組織(学科)的に行っていること、そしてそれを3年生数名が工夫を凝らしながら分かり易く自信を持って発表していたことなど大いに評価でき、大変有意義な機会となりました。

【研究テーマ(発表順)】

- ① 果物の可能性を広げよう!! (食品科学科)
- ② 寮の法面工事(環境科学科)
- ③ ハマボウフウによる海岸保護～この地から始める再生活動～(植物化学科)
- ④ 出雲コーチンでつなぐご縁の輪 Part 2～出雲コーチン復活プロジェクト～(動物化学科)
- ⑤ 松の樹勢回復(環境化学科)
- ⑥ 高品質なトマト栽培に向けて(植物化学科)
- ⑦ 出農オリジナルそば開発～そばづくり隊出農蕎麦部～(食品科学科)
- ⑧ シカ肉にシカないおいしさ(動物化学科)

高校では今年度、同様な活動が継続して行われることから、普及部としては出雲農業の実情を高校に限らず、JAや市とも共有・連携しながら、プロジェクト課題の設定や運営に関わっていきたいと考えています。そして、少しでも多くの生徒が出雲農業に関心を持ち、今後の農業を担ってほしいと期待し、そのための支援も行っていくことにしています。



工夫して発表する生徒たち



熱心に聞き入る生徒・先生たち